

公益財団法人まちみらい千代田
第6期第3回評議員会 議事録

1 日時

令和元年5月22日(水)午前10時～午前11時15分

2 場所

ちよだプラットフォームスクウェア 4階401会議室

3 評議員現在数

9名

4 出席者

(1) 評議員(7名)

鈴木潔(会長) ※議案第4号で評議員の互選により会長となる。

鎌倉勤(副会長) ※議案第5号で評議員の互選により副会長となる。

親泊哲、熊谷エイ、高橋陽子、谷真理子、山本久喜

[欠席者：高山肇、脇宗一郎]

(2) 理事(1名)

立川資久理事長

(3) 事務局(4名)

小林秀和事務局長

伊澤優グループマネージャー(以下GMという。)、加藤英明GM、佐波玲子GM

5 議題

(1) 議案 第4号 公益財団法人まちみらい千代田 評議員会会長の互選について

(2) 議案 第5号 公益財団法人まちみらい千代田 評議員会副会長の互選について

(3) 議案 第6号 公益財団法人まちみらい千代田 理事の選任について

(4) 議案 第7号 公益財団法人まちみらい千代田 監事の選任について

(5) 議案 第8号 公益財団法人まちみらい千代田 役員の報酬等に関する規程の一部を
改正する規程について

(6) 議案 第9号 公益財団法人まちみらい千代田 第7期事業計画(案)について

(7) 議案 第10号 公益財団法人まちみらい千代田 第7期収支予算(案)について

6 開会、挨拶、定足数確認、議事録署名人の選任

開会に先立ち、事務局が配付資料の確認を行った。これまで評議員会会長を務めてきた野本俊輔氏が平成31年3月31日をもって退任したため、鈴木副会長が議長となり、開会を宣言した。

はじめに、議長は立川理事長に挨拶を求めた。立川理事長の挨拶及び第7期事業計画(案)の概要説明後、第6期第3回理事会(平成31年3月29日・書面決議)での承認を得て、事務局長に任命された小林事務局長が挨拶を行った。小林事務局長の挨拶に続き、各GMが挨拶を行った。事務局の挨拶後、議長が本日の出席評議員について、事務局に報告を求めた。事務局から出席者と定款第26条の規定に定める定足数を満たしていることを報告し、議長が本評議員会は有効に成立している旨を告げた。

次に本評議員会の議事録署名人として、事務局から定款第30条第2項の規定により、本日出席の熊谷評議員と谷評議員の2名を提案したところ、満場一致の賛成があり、議長が両評議員を指名したところ、本人もこれを承諾した。その後、議事に入った。

7 議事の経過及び結果

(1) 議案 第4号 公益財団法人まちみらい千代田 評議員会会長の互選について

小林事務局長が議案第4号について、説明を行った。説明後、山本評議員がこれまで副会長を務めてきた鈴木副会長を会長に推薦した。これを出席している評議員に諮ったところ、全員異議なく、鈴木副会長を会長とすることで議決し、本人もこれを承諾した。

(2) 議案 第5号 公益財団法人まちみらい千代田 評議員会副会長の互選について

小林事務局長が議案第5号について、説明を行った。説明後、親泊評議員が副会長は会長と協力し、緊急時は会長の職務代行も行わなければならないため、会長に推薦してもらってはどうかとの提案があった。これを出席している評議員に諮ったところ、全員異議なく、鈴木会長が鎌倉評議員を副会長に推薦した。その推薦に全員異議なく、鎌倉評議員を副会長とすることで議決し、本人もこれを承諾した。

(3) 議案 第6号 公益財団法人まちみらい千代田 理事の選任について

小林事務局長が議案第6号について、説明を行った。本年5月21日付で足助紀彦理事から辞任の届出があり、同氏の後任でみずほ銀行公務部長である石田大介氏を新たな理事候補者として提案した。

議長が本議案を出席している評議員に諮ったところ、全員異議なく議決した。

(4) 議案 第7号 公益財団法人まちみらい千代田 監事の選任について

小林事務局長が議案第7号について、説明を行った。本年5月21日付で河合芳則監事から辞任の届出があり、同氏の後任で千代田区会計管理者である保科彰吾氏を新たな監事候補者として提案した。なお、提案に当たって「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律」

第72条1項及び第177条に基づき、監事から議案別紙のとおり同意を得ている旨を報告した。

議長が本議案を出席している評議員に諮ったところ、全員異議なく議決した。

(5) 議案 第8号 公益財団法人まちみらい千代田 役員の報酬等に関する規程の一部を改正する規程について

小林事務局長が議案第8号について、説明を行った。千代田区の関連団体における役員の報酬等の基準が改正されたため、「公益財団法人まちみらい千代田役員の報酬等に関する規程」の別表第1(第3条関係)のうち、代表理事の報酬を月額647,600円から月額577,700円とし、また、別表第3(第3条関係)の期末手当の支給割合を3.25か月から2.55か月に改正する内容を提案した。

議長が本議案を出席している評議員に諮ったところ、全員異議なく議決した。

(6) 議案 第9号 公益財団法人まちみらい千代田 第7期事業計画(案)について

(7) 議案 第10号 公益財団法人まちみらい千代田 第7期収支予算(案)について

議長から、議案第9号及び議案第10号は双方関連があるため一括上程し、審議を行いたい旨の提案があった。この提案に全員異議なく、配付資料に基づき、第7期の事業計画(案)と収支予算(案)について説明した。

第7期事業計画(案)については、小林事務局長が事業体系・廃止事業・事務局組織の説明を行った。その後、各GMから担当事業の説明を行った。

住宅まちづくりグループの事業については、伊澤GMが説明を行った。

産業まちづくりグループの事業については、加藤GMが説明を行った。

協働まちづくり・総務グループの事業については、佐波GMが説明を行った。

第7期収支予算(案)については、小林事務局長が第6期との比較をしつつ、収支予算(案)の説明を行った。また、財団の予算執行にあたっては、千代田区との連携・協力のもとに、健全で明瞭な運営に努めることを説明した。

説明後、以下のような質疑や意見があった。

(評議員)

まちみらい千代田の認知度向上のためにどのような取り組みを行っているのか。

(まちみらい千代田)

これまではノベルティグッズの配布を行ってきた。まちみらいニュースでのPRだけではなく、第7期ではFacebook 広告を導入し、まちみらい千代田や実施事業の認知度向上につなげる。

(評議員)

学生の発信力を活用するような取り組みを行ってはどうか。

(まちみらい千代田)

近年の千代田まちづくりサポートでは、日本大学や共立女子大学の学生から応募があった。そのような意欲的な学生に対して、まちづくり活動以外にまちみらい千代田のPRをお願いできないか検討してみる。

(評議員)

ウェブサイトのアクセス数はどの程度か。

(まちみらい千代田)

ページビュー数は、月間約13,000件となっている。この数字は物販を目的とする民間企業であれば少ないと考えられるが、公益法人の場合はその判断が難しい。

(評議員)

SNSの利用状況について、以前に学生へヒアリングを行った。Facebookを利用している学生はなく、Instagramをほとんどの学生が利用していた。これからSNSを活用して情報発信を行うのであれば、そちらのほうが良いのではないか。

(まちみらい千代田)

ウェブサイトへのアクセス状況の解析を行った結果、Facebookからウェブサイトへの流入数が多いということから、Facebook広告の試行導入を行うことにした。

(評議員)

それはPRをどのように進めていくかという議論においては、考え方のベースが違う。

(評議員)

発信するターゲットが重要で、企業向けということであればFacebookは有効である。ただし、その前段として、まちみらい千代田が実施する企業向けの事業のことは、まちみらいニュースが企業に配布されていないこともあり、知られていないように思われる。専門家派遣事業を含め、もっと周知活動が必要である。

(評議員)

千代田ビジネス大賞の表彰企業が集まるような会などは設けていないのか。そのような企業に情報発信してもらうことも有効ではないか。

(まちみらい千代田)

以前もそのようなお話があったが、実現していない。

(評議員)

マンション劣化診断調査費助成は、同一のマンションの管理組合に対して、一定年数が経

過することにより、複数回助成を受けられる制度なのか。長期修繕計画は5年ごと、大規模修繕計画は10年ごとに見直すこととされているので、複数回必要かと思われる。

(まちみらい千代田)

10年に1回助成を受けられる。

(評議員)

千代田ビジネス大賞のページに記載されている東商フェアは、正式な名称ではないのではないか。

(まちみらい千代田)

正しい名称に修正する。

(評議員)

千代田まちづくりサポートの地方連携部門とは、具体的にどのようなことを想定しているのか。

(まちみらい千代田)

千代田区・地方双方にメリットがあるような部門の設置を想定しており、具体的なことはこれから検討を進めていく。

(評議員)

区内にある都道府県事務所や地方のアンテナショップなどと連携することも検討したほうが良いかもしれない。

8 閉会

以上をもってすべての議事を終了したので、午前11時15分に議長は閉会を宣言した。

上記の決議を明確にするため、議長及び評議員がこれに署名、押印する。

令和元年5月22日

公益財団法人まちみらい千代田
第6期第3回評議員会

議 長 鈴 木 潔 ⑩

議事録署名人 熊 谷 エ イ ⑩

議事録署名人 谷 眞 理 子 ⑩